

## 風

学校法人中沢学園 みなみ若葉幼稚園（福島県会津若松市） [3歳児]

○子どもたちは、園内のいろいろな場で風を感じている。

&lt;保育室で&gt;

 風呂敷を首に巻いてマントにする。  
首に巻いた時にマントがフワァーと揺れる。

「今、風が吹いたよ！」

だってフワァーってしたもん」



&lt;日向からテラスに移動して&gt;

 「涼しい」「気持ちいいね」「風涼しいー」  
「ウサギの所は暑かったけど、ここは涼しいね」  
「あ！おひさまがかくれているからだ！」  
「車のかげだから」「屋根の下だからだよ」  
「ここは風があるんだよ！」

 <園庭の自然園で日差しから逃れて>  
葉が生い茂っている木の下に集まっている。

「涼しくなってきた！」

「風が流れてる～」

「涼しい～」「涼しい～」

&lt;風車を見つけて&gt;

 園庭でモグラ退治機の風車を見付け  
「クルクル回ってる！」と喜び。  
「風がいっぱい集まってるんだよ！」  
「風が重くなって回るんだよ」


○子どもたちは遊びながら、風の力を感じている。

&lt;戸外の固定遊具で&gt;

 風が強く吹いてくると、両手を広げて楽しみ始める。  
そばにいた子どもも真似をして、風を受け始める。

「あらしだあ～」

「風が強ーい！」

「飛ばされないようにね！」

「ももんがみたーい」



&lt;遊びに使った風呂敷を洗濯して&gt;



力を入れて絞ったよ！

&lt;かけっこをして&gt;

 髪の毛が揺れ「風になった」と言い、  
「走ったらもっと風になるかな」  
と走り出した。

「よーいどん！は気持ちいいね」

「風になるからじゃない？」

「大風になってきたよ！見てて！」

「ビュービュー」

「風になったー。面白ーい！」


 おひさまと風がまざったから、  
早く乾いたよ！

## みどころ

子どもたちは、いろいろな所で風を感じています。風の向きや強さ、風の力など、全身で感じていることを様々に表現しています。見ることができない風でも、このように表現することで、3歳児なりに共有したり共感したりしています。

いつ、どのように感じるができるか分からない自然事象であっても、子どもたちは不思議さや面白さに心を動かして、遊びに取り込んでいます。「科学する心」が育まれるきっかけとして、見逃せない姿です。